



つっぱり式オーニング「CALME(カルム)」取扱説明書

準備するもの

・電動ドライバー or 柄付きプラスドライバー ・メジャー ・脚立 ・油性ペン ・オーニングを組み立てる気合い

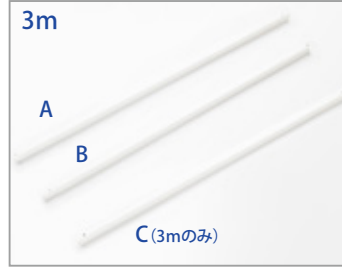
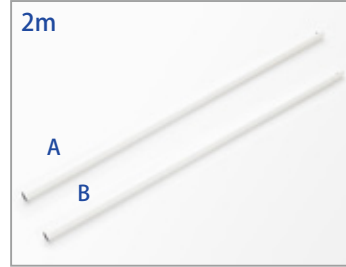
- ・組立は必ず2人以上で行ってください。3名で行うことを推奨します。
- ・組立前に必ずすべての部品があることを確認してください。
- ・支柱の上部と下部のキャップのカバーは取れやすくなっています。取れている場合はカバーを付け直してください。
- ・お届け時のハンドルは「右ハンドル仕様」です。「左ハンドル」にする場合は、組立前にハンドルを付け替える必要があります。【STEP9.5】をご参照下さい。

パーツ一覧

① 説明書



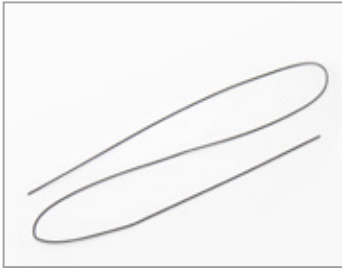
② テントバー 2mの場合は2本 / 3mの場合は3本



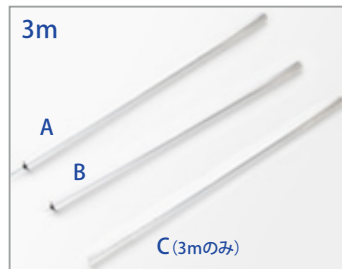
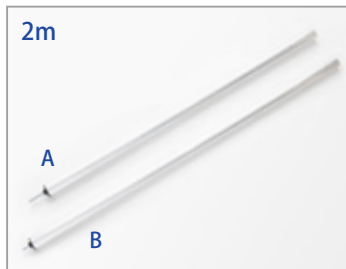
③ テント生地



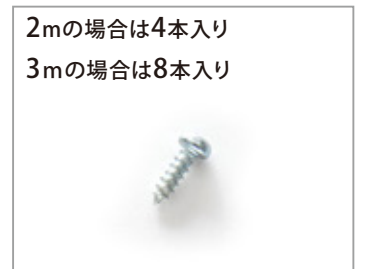
④ テントワイヤー



⑤ テント巻き取りパイプ 2mの場合は2本 / 3mの場合は3本



⑥ ビス



⑦ ドライバー



⑧ テント支柱【上】×2本



⑨ テント支柱【中】×2本



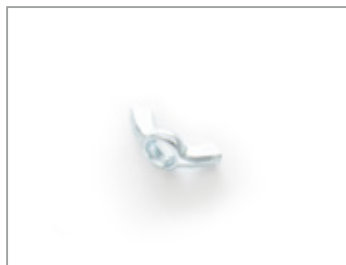
⑩ テント支柱【下】×2本



⑪ ブラックキャップボルト【長】×2本



⑫ 蝶ナット×2個



⑬ テントブラケット



⑭ ハンドル付きテントブラケット



⑮ 支柱上部キャップ×2個



⑯ 座金×2枚



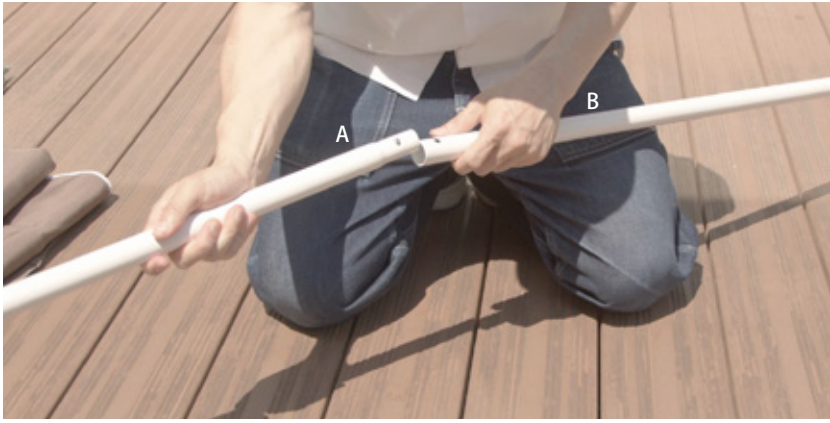
⑰ 袋ナット×2個



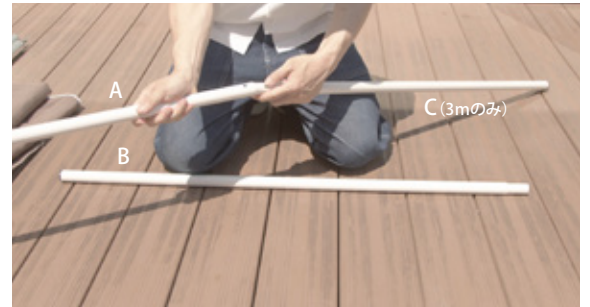
⑱ ブラックキャップボルト【短】×2本



STEP.1 テントバー②AとBを、シルバーの突起を押しながら取り付けます。



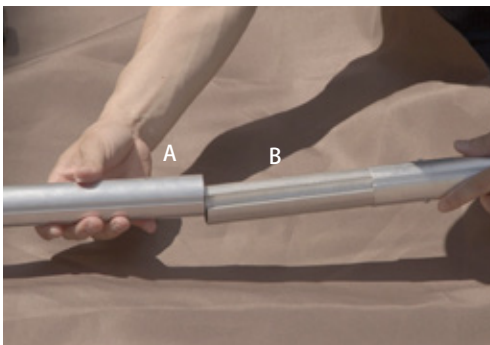
3mの場合は、中央にCをジョイントします。



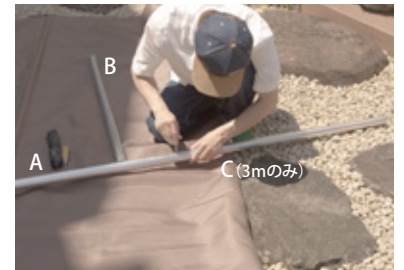
STEP.2 テント生地③の上部袋縫いにテントワイヤー④を差し込み、下部袋縫いの穴にSTEP.1でつなげたテントバーを入れます。



STEP.3 テント巻き取りパイプ⑤Aと⑤Bを繋ぎ、穴を合わせます。2mはビス⑥で4か所を固定します。
※ドライバーは付属しておりますが、柄のついたお手持ちのドライバーがあればそちらをお使いください。



3mの場合は中央にCをジョイントし、ビス⑥で8か所を固定します。



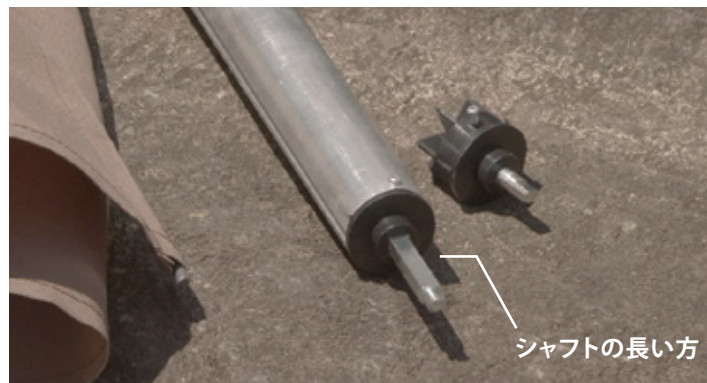
STEP.4 STEP.3で繋げたテント巻き取りパイプの片側のサイドキャップをドライバーを使って一旦外します。どちらをはずしてもOKです。
※後ほど付け直すのでビスの紛失にご注意ください。



STEP.5

テント生地③の縫い目を見て表裏を確認します。折り返して生地が2重になっている(折り返されている側)側が裏面となります。テント巻き取りパイプのサイドキャップのシャフトの長い方がハンドル側(右側)になります。

※ハンドルを「左ハンドル」にする場合は、シャフトの長い方が左側にくるようにします。



テント生地③を表にし、シャフトの長い方が右側にくるようにテント巻き取りパイプの溝に、テント生地③上部のワイヤーを通した部分をスライドして差し込みます。



STEP.6

テント生地③を最後まで差し込んだら、STEP.4で外したサイドキャップを取り付け直します。



STEP.7

テント支柱⑨と⑩を二組ともジョイントします。

※底カバーは外れやすくなっていますので、外れていたら付け直してください。



STEP.8

メジャーで設置場所の高さを測ります。メジャーを出したままSTEP.7で繋いだ支柱の横に置きます。

**STEP.9**

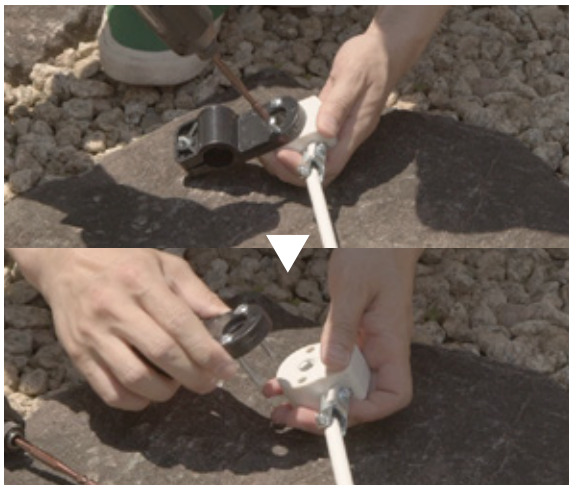
⑧を⑨に差し込みます。



設置サイズに一番近く且つ設置サイズを超えない⑧⑨の穴位置が合うところに、ブラックキャップボルト【長】⑪を差し込み、反対側から蝶ナット⑫で留めます。2組とも同じ穴位置にしてください。

**STEP 9.5**

左ハンドルにする場合、ネジを2本外してギアボックスを取り、逆にしてまたネジを取り付けます。

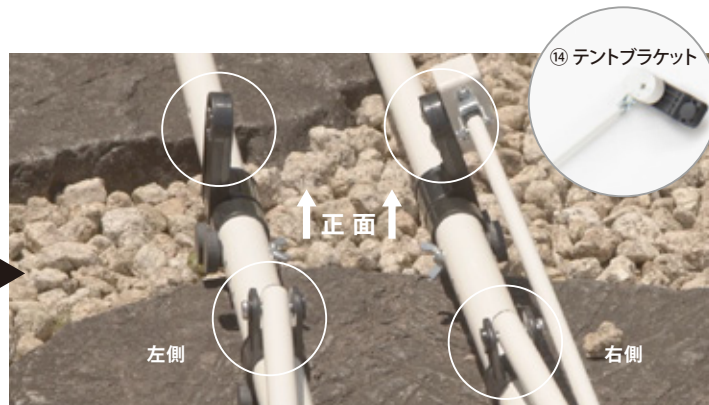


※左ハンドルにしたい場合は、このタイミングで付け替えます。以降のハンドル⑭の取付けは全て左右逆で行ってください。

STEP.10

支柱⑧⑨⑩の⑧側からテントブラケット⑬と、ハンドル付きテントブラケット⑭をそれぞれ支柱⑨の黒いキャップまで差し込みます。
(⑨に付属している棒がテント生地を持ち上げるテントアームなので、そこが正面になります。)

正面から見て、ハンドル付きテントブラケット⑭の付け根にある白いギアボックス部が右側になっているかを確認してから、
ブラケット付属の黒ボルトを締めます。



※テントブラケットの先端にテントを取り付けるため、
そちらがテントアームとともに正面になるよう揃えます。

STEP.11

支柱⑧⑨⑩の⑧側に支柱上部キャップ⑮をつけます。



※カバーは外れやすくなっていますので、外れていたら付け直してください。

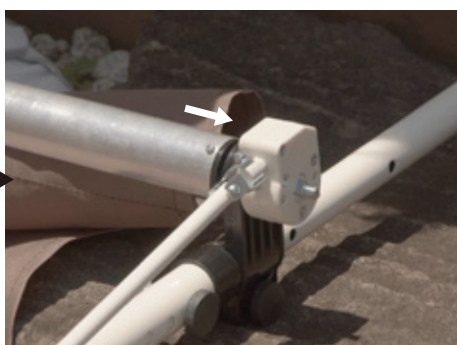
STEP.12

STEP.11で組み立てた支柱を床置きのまま、STEP.6で組み立てたテントを取り付けます。



テント巻き取りパイプ⑤のシャフトの長い方を右支柱の⑭に、シャフトの短い方を左支柱の⑬に差し込み、
座金⑯をはめてから袋ナット⑰をしっかり締めます。

※この時ナット⑰と取り付けたブラケットにはシャフトの長さにより遊び(隙間)ができますが取り付け間違いではありません。



STEP.13

⑨に付属しているテントアームの先端と、テント下部の袋縫いに入れた②の先端を、ブラックキャップボルト【短】⑱を使い取り付けます。



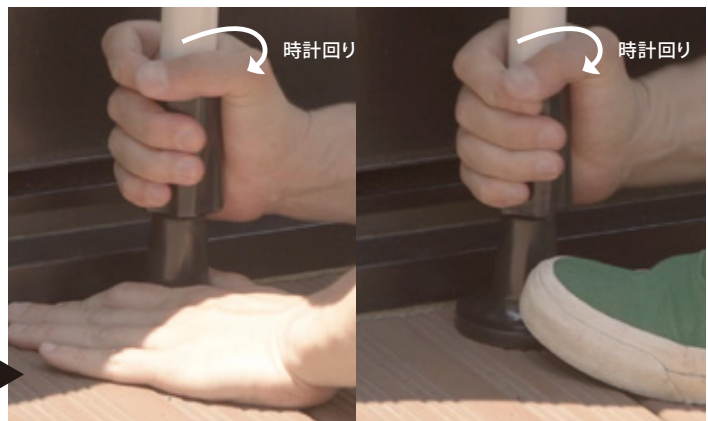
ブラックキャップボルト【短】⑱

STEP.14

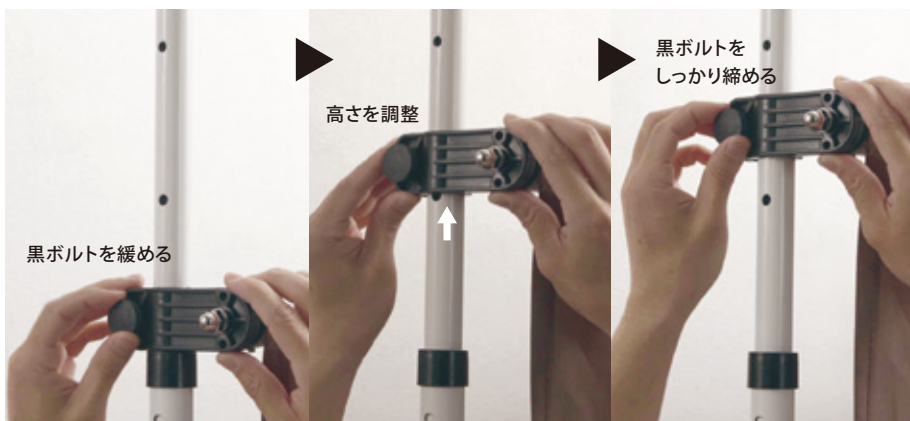
組み立てたオーニングの各支柱を一人ずつ持ち設置場所に立てて、支柱が垂直に立っているかをよく確認します。支柱をつぶるまではズレやすいので、他の人に少し下がって垂直であるか確認してもらうことをおすすめします。

**STEP.15**

支柱⑩の下部の高さ調整ハンドルを、時計周りにしっかりとつぶるまで回します。下部キャップは動かないように手で押えるか、足で踏んで固定します。※つぶるまで少し時間がかかりますが、根気よく回してください。

**STEP.16**

テント生地が一番下に設置している状態です。高い位置にしたい場合は調整します。天井から設置位置の長さを測り、右と左の支柱の同じ位置に印をつけ、テントブラケット⑬と⑭の黒ボルトを緩めて高さを調節し、再度しっかりと締めます。※テントは水平にしないと巻き上げられなくなるため、天井が水平では無い場合はテントが水平になるよう調整してください。



STEP.17

⑨のテントアームと⑨本体の接続ボルトを左右支柱の両方緩めます。
テント生地のおよれやシワを伸ばし、垂直にペタンと降りきるよう調整します。テント生地が降りきっていることを確認したら、その位置で緩めたテントアームのボルトを再びしっかり締めます。



STEP18

設置が完了しました。ハンドル⑭を回し、テントの長さや持ち上がりを確認しましょう。
時計回りでテントが巻き上がり、反対方向で下がります。



安全上の注意事項

この商品を安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず下記の事項をご確認ください。

- 下記に該当する場合はテントを取り外し、寝かせた状態で屋内にて保管してください。
設置したままにしておくと支柱が外れ、思わぬ事故やケガの原因になります。
 1. 長時間の雨、大雨、雷雨、積雪、それらを予想される時。
 2. テントが揺れるほどの強い風、台風またはそれが予想される時。
- アームやテントにぶらさがったり、支柱に人や物が寄りかかったりしないでください。
- パイプや部品の潰れや変形などがある場合は速やかに使用を中止してください。
- 風当たりの強い場所や、特に地盤の弱い場所には設置しないでください。
- 天気の悪い日は組み立て作業をしないでください。
- 製品の改造はしないでください。(組み立てができなくなり、強度がなくなります。)
- 製品に火気などを近づけないでください。(火災の原因となります。)
- テント生地は撥水加工であり、防水ではございません。強い雨や長時間の雨の際はご注意ください。

この度は弊社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。未永くご愛用いただけましたら幸いです。